

MSSQL2012 バージョンアップツール実行時の事前確認

※ご注意※

MicorosoftSQLServer2012 へのバージョンアップ処理は、必ず会計事務所様にご確認のうえ処理を行ってください。

MicrosoftSQLServer2005 から SQLServer2012 に移行する際、下記項目を必ずご確認のうえで行ってください。
条件を満たしていない場合、エラー終了する可能性があります。

□MicrosoftSQLServer2012 の動作環境の確認

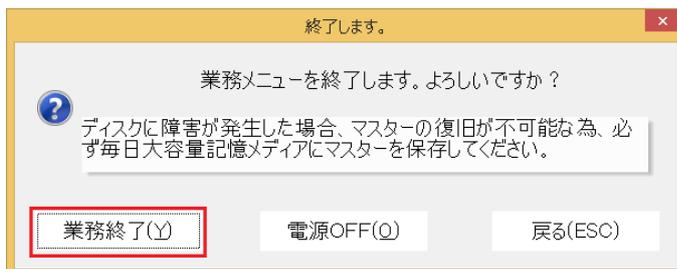
- ・CPU 推奨 Corei シリーズ
- ・メモリ 1.5GB 以上 ※推奨 4GB 以上
- ・HDD 空き容量 6GB 以上

[詳しくは上手くん aweb サイトを確認ください](#)

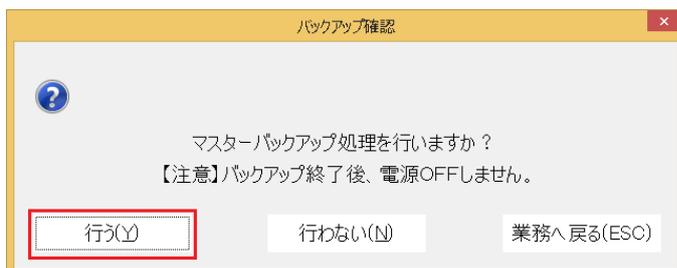
□上手くんのデータバックアップ

上手くんのデータを USB メモリにバックアップします。(※外付け HDD は非対応です)

1.USB メモリをセットして、上手くん aシリーズを業務終了します。



2.バックアップを行いますか?と確認メッセージが表示されます。「行う」を選択してください。



3.バックアップ画面右側の[バックアップ]をクリックします。

4.下記ウィンドウが表示されます。[処理開始]をクリックするとバックアップが行われます。

※[保存オプション]は“当年度&過年度マスター”に、[マスター種別]は“マスター全体”を選択してください。

設定

USB×EJ-DVD

バックアップ元サーバ: JOUWICS マスター種別: マスター全体

バックアップ元デバイス: ローカル ディスク (C:)

バックアップ先デバイス: リムーバブル ディスク (F:)

保存オプション: 当期&過年度マスター

汎用データバックアップ

汎用データのバックアップを行う

保存世代数: 1

フォルダ指定

会社指定

前項へ [F3]

次項へ [F4]

処理開始 [F12]

キャンセル [Esc]

詳細設定

転送先メディアの容量が不足した時

保存データをすべて削除した上で、処理を続ける

処理を中断する

確認メッセージを表示する

管理者業務

バックアップ処理時に会社名を表示する

□WindowsUpdate 更新プログラムの確認

WindowsUpdate を開き、重要な更新プログラムのインストールが完了している事をご確認ください。

Windows Vista、7	スタート🌐をクリック⇒すべてのプログラム⇒WindowsUpdate を選択してください。
Windows 8	画面左下にマウスカーソルを移動して右クリック⇒システムを選択 ⇒WindowsUpdate を選択してください。
Windows 8.1	Windows ボタン📌を右クリック⇒システムを選択⇒WindowsUpdate を選択してください。
Windows 10	Windows ボタン📌をクリック⇒設定を選択⇒更新とセキュリティを選択 ⇒WindowsUpdate を選択してください。

重要な更新プログラムがインストールされていない場合

重要な更新プログラムをインストールしてください。



重要な更新プログラムがインストール済みの場合

重要な更新プログラムのインストールがお済みの場合は下記のように表示されます。

バージョンアップツールを実行しても良い状態です。



※ネット未接続 PC での SQL2012 バージョンアップについて

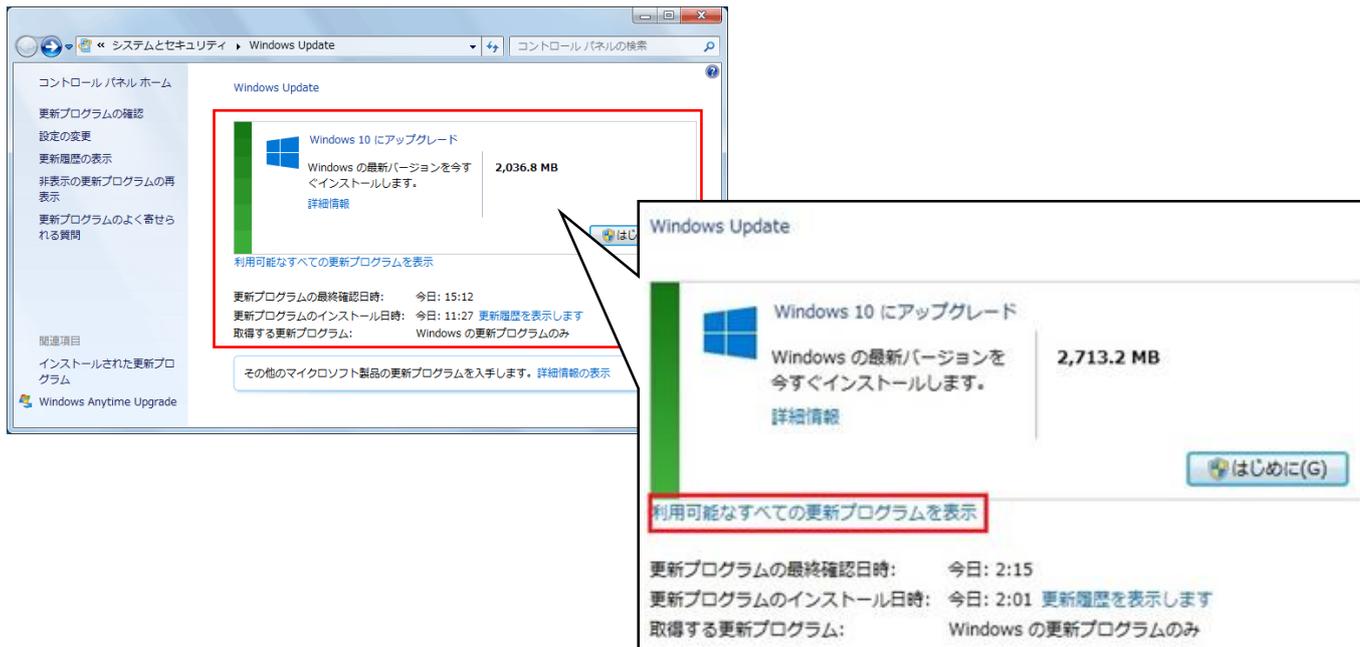
WindowsUpdate が行えていない事が原因となり、エラーになる可能性が高くなります。

インターネットに接続して重要な更新プログラムを全てインストールしてください。

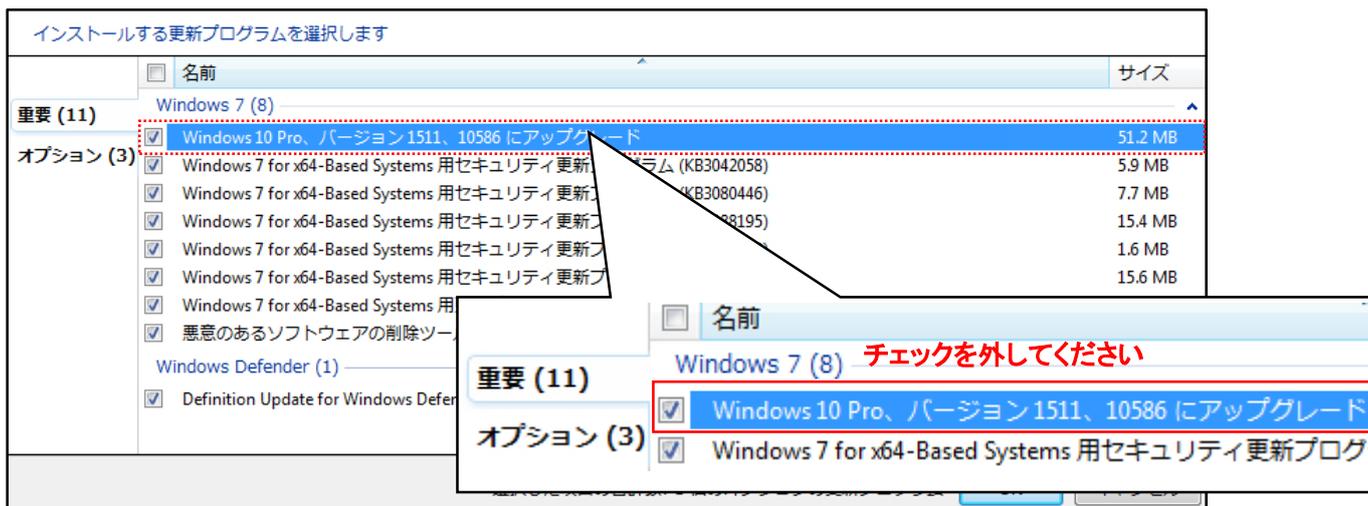
※Windows10 にアップグレード可能な状態で WindowsUpdate を開いた場合

Update 画面を確認すると“はじめに”を選択するだけで Windows10 にアップグレードできる状態になっています。

Windows10 にアップグレードの予定が無ければ選択しないようにします。



“利用可能なすべての更新プログラムを表示”をクリックします。



“重要”もしくは“オプション”の中に Windows10 関係のプログラムがありますのでチェックを外してください。

それ以外の重要な更新プログラムのみチェックを付けてインストールしてください。

□SQLServer を利用した他社ソフトの有無の確認

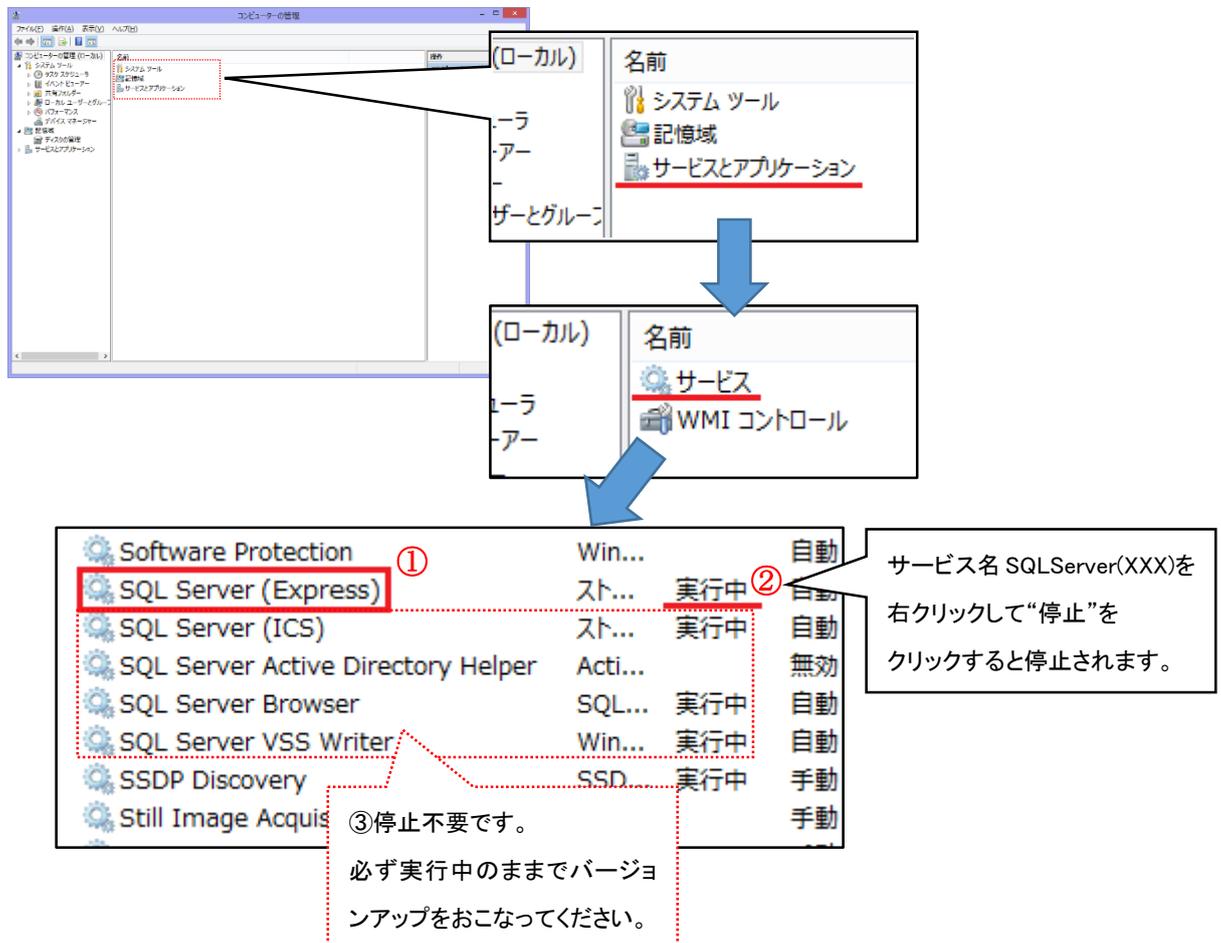
上手くんαリリース以外に SQLServer を利用したプログラムがあった場合、バージョンアップツールを実行するとエラーになる可能性があります。事前に SQLServer の有無を確認してください。

コンピュータの管理よりサービスを開き確認を行います。

コンピュータの管理の表示方法

Windows Vista、7	コンピュータのアイコンを右クリックします⇒管理を選択します。
Windows 8	画面左下にマウスカーソルを移動して右クリック⇒コンピュータの管理を選択します。
Windows 8.1	Windows ボタン  を右クリック⇒コンピュータの管理を選択します。
Windows 10	Windows ボタン  を右クリック⇒コンピュータの管理を選択します。

コンピュータの管理が表示されます。サービスとアプリケーション⇒サービスと順に開きます。



The image shows a sequence of steps to reach the SQL Server services list in Windows. It starts with the 'Computer Management' window, where 'System Tools' > 'Services and Applications' is selected. This leads to the 'Services' list, where 'SQL Server (Express)' is highlighted. A callout box explains that services with names like 'SQLServer(XXX)' should be right-clicked and 'Stop' selected. Another callout notes that 'SQL Server (ICS)', 'SQL Server Browser', and 'SQL Server VSS Writer' are running but do not need to be stopped. A final note states that the version update should be performed while these services are still running.

①SQLServer(XXXX)と表記されたサービスが SQLServer(ICS)以外にあった場合は、SQL を利用した他のプログラムを使用されている可能性があります。必ず該当するソフトにてバックアップをお取りください。

②“実行中”や“開始”と表示されている状態でバージョンアップツールを実行するとエラー等の原因になる可能性があります。必ず停止してください。
停止方法: サービス名“SQLServer(XXXX)”を右クリックして「停止」を選択します。

③SQLServer(ICS)、SQLServerBrowser、SQLServerVSSWriter は“実行中”の状態でバージョンアップツールを実行します。停止しないでください。

①SQLServer(XXXX)と表記されたサービスが SQLServer(ICS)以外にあった場合は、SQL を利用した他のプログラムを使用されている可能性があります。必ず該当するソフトにてバックアップをお取りください。

②“実行中”や“開始”と表示されている状態でバージョンアップツールを実行するとエラー等の原因になる可能性があります。必ず停止してください。

停止方法: サービス名“SQLServer(XXXX)”を右クリックして「停止」を選択します。

③SQLServer(ICS)、SQLServerBrowser、SQLServerVSSWriter は“実行中”の状態でバージョンアップツールを実行します。停止しないでください。

以上の確認を行ったうえ、最後に PC の再起動を行ってください。

再起動後に確認頂きたい項目

- ・WindowsUpdate(重要な更新プログラムが追加されている場合があります。再度ご確認ください)
- ・ウイルスソフトの無効化(PC 再起動後起動するタイプが多いです)
- ・SQLServer 利用の他社ソフトの停止(PC 再起動後 SQLServer は自動的に開始になります)

MSSQL2012 バージョンアップツールは必ずデスクトップ等に保存してから実行してください。

※ご注意※

MicorosoftSQLServer2012 へのバージョンアップ処理は、必ず会計事務所様にご確認のうえ処理を行ってください。